

外国語教育メディア学会 (LET)

関東支部 第 144 回 (2020 年度秋季) 研究大会 プログラム

授業における不安の解消と支援
—持続可能な学びのために—

会員・関係者各位

春の支部研究大会はコロナ禍のために開催を中止させていただきました。緊急事態宣言の解除後、6月末から10月までに支部の部会を6回開催してきましたが、会員の皆さまのご発表の機会を設けるのは1年ぶりになります。今回はZoom開催のため対面でご発表を伺えないのは残念ですが、発表会場への移動がありませんので、より多くの会員の皆さまにご参加いただけるのではないかと考えています。他支部の会員の皆さまも含め、多くの方々と交流できることは新たな喜びでもあります。

さて、今回のテーマですが、コロナ禍で対面授業ができなくなったときに初めて直面した教員と学習者の不安がきっかけです。現在、小中高ではマスクをしていることと三密を避けることを除けば以前と近い状態で教育が行われています。大学では大人数の授業も多いために完全に対面とするのは依然として難しいところもあります。しかし、どちらの場合でも、対面ではあまり気にせずに行っていた教師と学習者の温かいつながりを保つ難しさを経験したのでないかと思えます。これからは、オンラインであろうとなかろうと、教員・学習者ともに不安にならず、教員は学習者の学びを止めずに支援し続け、学習者は強い学習意欲を持って学び続けていける、さらにはその過程で温かい人間関係を築いていけるような教育を、初心に返って考えることが重要だと考えています。

そこで、今回はコーチングの専門家である丹七美先生をお迎えすることにしました。教員も学習者も不安を最小限に、期待感・達成感を最大限にすることを目指し、満足しながら学びを持続可能としていくヒントをお話いただけるのではないかと思えます。LETは新しいメディアの教育活用に強い学会ですが、真の教育を目指すからこそ、人間同士の関わりを大切にしていきたいと思っています。

2020年11月

外国語教育メディア学会
関東支部長 下山 幸成

記

主催 外国語教育メディア学会 (LET) 関東支部
期日 2020年11月29日 (日曜日)
会場 オンライン開催 (Zoom)

外国語教育メディア学会 (LET) 関東支部事務局
〒350-0248 埼玉県坂戸市けやき台1-1
城西大学 語学教育センター内 (鬼頭和也)
電話: 049-271-7652
E-mail: kanto-office@j-let.org

LET 関東支部第 144 回研究大会 イベントスケジュール

「授業における不安の解消と支援—持続可能な学びのために—」

開始	終了	Zoom 1	Zoom 2	Zoom 3
13:00	13:10	開会の挨拶 LET 関東支部賞授賞式		
13:15~		司会 湯舟 英一（東洋大学）	司会 中田 ひとみ（獨協大学）	司会 久保 岳夫（開成学園）
13:15	13:45	①研究発表 「日本人英語学習者のスピーキングに見られる言語特徴」 尾崎 ちひろ（東海大学菅生高等学校）	②研究発表 「自治体が独自に作成している小学校用外国語教材—種類・内容・作成者の全般的傾向—」 青田 庄真（東京医療保健大学） ●2019 年度関東支部研究支援プログラム 中間報告	③研究発表 「JET プログラム参加外国語指導助手のピリフ調査」 鈴木 誠（埼玉県教育委員会高校教育指導課） ●2019 年度関東支部研究支援プログラム 最終報告
13:45	13:55	賛助会員発表： チエル株式会社	賛助会員発表： 株式会社 三修社	賛助会員発表： 株式会社 桐原書店
13:55	14:25	④研究発表 「オンライン国際交流が外国語学習者のコミュニケーション能力と意識の向上に与える影響に関する質的考察—スピーキング力とシャドーイング力の伸長に向けて—」 山内 豊（創価大学） 峯松 信明（東京大学） 西川 恵（東海大学）	⑤研究発表 「戦後日本の中等教育課程における『英語原則』の起源—1998・99 年学習指導要領改訂の政策過程—」 酒井 秀翔（筑波大学学群生） 青田 庄真（東京医療保健大学）	⑥研究発表 「教室における学習者感情と感情調整—社会文化的アプローチから英語学習者と日本語学習者に着目して—」 守屋 亮（早稲田大学大学院生） ●2019 年度関東支部研究支援プログラム 最終報告
14:25	14:35	賛助会員発表： 株式会社 アルク	賛助会員発表： 株式会社 成美堂	賛助会員発表： リアリーイングリッシュ株式会社
開始	終了	Zoom 1	Zoom 2	Zoom 3
14:35~		司会 跡部 智（慶應義塾普通部）	司会 飛田 ルミ（足利大学）	司会 大久保 雅子（東京大学）
14:35	15:05	⑦研究発表 「インタラクション・モードの違いが遠隔授業の学習意欲と学習効果に与える影響」 西川 恵（東海大学） 山内 豊（創価大学） 野間 大作（東海大学）	⑧研究発表 「中学校英語検定教科書に出現する主語位置名詞句の分析」 田中 広宣（東京大学大学院生）	⑨実践報告 「英語コミュニケーション力向上のための自己学習教材の開発—感情表現を中心として—」 石井 朱美（芝浦工業大学）
15:05	15:15	賛助会員発表： 株式会社 内田洋行		

開始	終了	Zoom 1	Zoom 2	Zoom 3
15:15	15:45	⑩実践報告 「『英語で茶道』の動画作成報告」 カレイラ松崎 順子（東京経済大学）	⑪実践報告 「医療系大学における EMI 実践報告と課題」 斎藤 隆枝（国際医療福祉大学）	⑫実践報告 「英語発音トレーニング授業における人型ロボットの活用事例」 坂本 洋子（獨協医科大学） 坂田 信裕（獨協医科大学） ●2019 年度関東支部研究支援プログラム 中間報告
16:00～		司会 鬼頭 和也（城西大学）		
16:00	17:15	基調講演 「授業における不安の解消と支援—持続可能な学びのために—」 講師：丹 七美		
17:15	17:25	閉会の挨拶		
17:25	18:00	発表予備・懇談		

賛助会員広告一覧

三修社は、学習する方々に「最高の教材を提供すること」を理念とし、外国語の辞書、語学学習書、大学向け語学教科書等を中心に、数多くの書籍を出版しております。オンライン授業に役立つデジタルデータ等に関するお問い合わせはこちらまで webmaster@sanshusha.co.jp 新刊テキスト情報を公開致しました。是非お立ち寄り下さい。

三修社 HP <https://www.sanshusha.co.jp>



三修社 SANSHUSHA

英語 4 技能学習に特化したクラウド型の MALL システム CaLabo® MX 《キャラボエムエックス》先生目線のやさしい操作性で、オンライン授業や BYOD に対応した機能を搭載。クラウド環境のペア会話をはじめ、録音した音声ファイルの課題管理も簡単にできます。教室学習もスマホ学習もこれでバッチリ!

詳しくは下記リンクから

>> <https://www.chieru.co.jp/products/high-school/calabo-mx/>

Chieru



オンライン英語 動画・添削 サービス

詳細はホームページにて

<https://slc.tbshare.net/info/index.html>



グローバル人材育成の総合ソリューションパートナー アルクは、お陰様で昨年創業 50 周年を迎えることができ、今年、新たな 50 年に向けた第一歩を踏み出しました。e-learning や電子書籍、アプリ、オンライン授業など、様々なオンラインツールで今後も大学様の語学教育をサポートさせていただきます。

詳しくは【学校法人様専用ページ】をご覧ください。

<https://www.alc-education.co.jp/academic/>



弊社の主力コースである総合英語コース7は、来春総合英語コース8にバージョンアップし、更に学習意欲が沸くコンテンツになる予定です！ご期待下さい！また、オンラインで異文化研修ができる Virtual Live Training を留学代替の新サービスとしてご紹介しております。

<https://www.reallyenglish.co.jp/education/>



Kirihara Speaking & Writing Test

Powered by EnglishCentral 

桐原スピーキング&ライティングテスト

学生の「話す」「書く」能力の測定・評価に最適です！

<https://www.kirihara.co.jp/product/detail/100110/>

2021 年度もオンライン授業等で使いやすい教材が揃っております!

2021 年度新刊のご案内⇒ <https://www.seibido.co.jp/np/frontlist.html>

オンライン授業にお勧めの教材⇒ <https://www.seibido.co.jp/assets/onlineleaf/?detailFlg=0>



株式会社 成美堂

101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-22

TEL 03-3291-2261 FAX03-3293-5490

UCHIDA

内田洋行の語学学習のオンライン授業支援するサービス 1) オンライン会議システムとあわせて使える語学学習専用の音声再生/録音アプリのWeb版ソフトレコーダー。同期型のオンライン授業におすすめです。2) 音声認識・評価技術を活用したオンライン教材 **AT R CALL B R I X**。

お問い合わせは [こちらのフォーム](#) から。(株式会社内田洋行 高等教育事業部)

JVC

長年多くの学校様に活用いただいていた JVC の CALL システムがアクティブラーニング用に機能をより充実させ、ますます使いやすくなりました。

校内のソーシャルディスタンスが重要となっている今、教室内においても USB カメラを通しお互いの顔を見ながら離れてコミュニケーションができます。

詳しくはこちら! <https://www.jvc.com/jp/pro/education/lineup/well/>

LET は 英語教育だけでなく、あらゆる外国語教育について最先端の理論とそれに基づいた実践方法を探究する学会です。言語理論、学習理論、認知心理学、脳科学などの基礎理論研究から、教授法や教材開発、学習アプリ開発、SNS 利用、モバイル活用に至る教育工学を含みます。研究発表、実践報告、シンポジウム、賛助会員(企業)プレゼン、様々な研修会などを1年を通して開催しています。もっと効果的で魅力的な授業にしたい、生徒のやる気を高めたい、など授業改善を求めるあらゆる学年の外国語教員にお勧めです。この機会にご同僚やお知り合いをご紹介ください。